

**NTTドコモ FOMA(R) N902 Bに
カメラでケンサク! ERサーチ」i アプリ(R)が搭載
～携帯電話のカメラで撮影するだけで商品情報などを
簡単に取得できる画像認識・検索サービス～**

バンダイネットワークス株式会社
株式会社ディーツー コミュニケーションズ

バンダイネットワークス株式会社（代表取締役社長：大下聡、本社：東京都港区、以下、バンダイネットワークス）と株式会社ディーツー コミュニケーションズ（代表取締役社長：藤田明久、本社：東京都港区、以下、D2C）は、携帯電話のカメラ機能を利用した画像認識・検索サービス「カメラでケンサク! ERサーチ」の提供を開始いたします。

「カメラでケンサク! ERサーチ」は、端末に搭載されている画像認識技術とi アプリを用いたサービスです。ユーザーが「カメラでケンサク! ERサーチ」のi アプリを起動し、世の中の様々なメディアや広告などをカメラで撮影すると、その撮影した画像の特徴点を抽出、サーバへ送信し、あらかじめ登録されている画像の特徴点データとマッチングして、検索結果として商品情報などのコンテンツを配信する仕組みです。

つまり、ユーザーは慣れ親しんだ携帯電話のカメラを使って簡単に情報検索を行うことができます。また、ユーザーは同サービスを無料で利用することができます（利用時のパケット通信料金は別途発生します）。

「カメラでケンサク! ERサーチ」は、今後発売予定の、NTTドコモ「FOMA N902 B」にプリインストールされており、順次対応端末を拡大していく予定です。

< カメラでケンサク! ERサーチ」の背景 >

「カメラでケンサク! ERサーチ」には、米国 EvolutionRobotics社（本社：米国カリフォルニア州）がロボット工学要素技術として開発した画像認識技術「ViPR(TM)」[※]が使用されており、バンダイネットワークスが携帯電話への移植開発を行いました。

また、ERとは、「ViPR(TM)」の開発元である米国 EvolutionRobotics社の社名と、さらに“Entertainment”（エンターテインメント）の「E」と“Recognize”（認識する）の「R」の頭文字を表しています。

※）「ViPR(TM)」とは：米国 EvolutionRobotics社がロボット工学要素技術として開発した画像認識技術。「ViPR(TM)」は、Visual Pattern Recognitionの略称として名づけられた技術。データベースサーバに画像の特徴点とアクションを登録しておく、対象を撮影するだけで、そのカメラ画像から特徴点を抽出しサーバに送信、登録画像情報と比較してサーバから対応するアクションが返ります。認識については、“あいまいさ”を持っているので、逆さまや斜め、また対象物の一部（ある程度）でも認識することができます。

< カメラでケンサク! ERサーチ」の利用について >

企業は、「カメラでケンサク! ERサーチ」をプロモーションやマーケティングに活用することができます。

例えば、販促物や広告などに掲載する商品や企業ロゴなどの画像情報を「カメラでケンサク! ERサーチ」のデータベースにあらかじめ登録しておけば、被写体の販促物や広告などから見込客を誘導し、モバイル・コマースにおける物品販売やデジタルコンテンツの販売、キャンペーン応募などを行うことが可能です。通販カタログ、雑誌、CDジャケット、TVCM、商品パッケージ、屋外広告などあらゆるものから本サービスへの利用が可能となります。

従来の二次元コードなどとは異なり、あらかじめ情報が画像に組み込まれているため、クリエイティブさも損ないません。

< 参考 >

2006年5月10日現在、「カメラでケンサク! ERサーチ」の利用を予定されている企業をご紹介します。今後も続々と商品やメディア、広告などで活用される予定です。

企業名	50音順にて記載
アマゾン	ジャパン株式会社
株式会社角川	クロスメディア
株式会社角川	デジックス
株式会社千趣会	
タワーレコード	株式会社
株式会社	ツタヤオンライン
株式会社	ディノス
株式会社	ニッセン
株式会社	メディアワークス



今後、D2Cとバンダイネットワークスは、「カメラでケンサク! ERサーチ」の普及とサービス内容の向上に努めるとともに、携帯電話を活用したクロスメディア・ソリューションやコマース・サービスを提供してまいります。

※ 「カメラでケンサク! ERサーチ」はバンダイネットワークス株式会社と株式会社ディー・ツー・コミュニケーションズの商標です。

※ 「アプリ」、FOMA」は株式会社NTTドコモの登録商標です。

※ その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

【バンダイネットワークス株式会社】

2000年9月に株式会社バンダイから分社。資本金11億13百万円、代表取締役社長 大下 聡。

人気のキャラクターの著作権を取得し消費者に受け入れられるように商品化するキャラクターマーチャンダイジングを得意とするバンダイの強さを武器に、独自のサーバ運用のノウハウや優れた企画力・発想力、それにパートナー企業との連携を存分に活かして、モバイルコンテンツ事業やeコマース事業、Webコンテンツ事業など幅広く手がけています。

バンダイネットワークスが提供している携帯電話向けコンテンツは、約400万人のユーザー（有料会員、国内）にご利用いただいています。2003年12月12日にJASDAQ市場（コード:3725）に上場しております。

【株式会社ディー・ツー コミュニケーションズ（D2O）】

2000年6月に、NTTドコモの子会社として、電通、NTTアドとともに設立された世界初の本格的モバイル広告専門会社。

資本金9億8千万円、代表取締役社長 藤田 明久。

モバイルの広告業務を中心とし、NTTドコモが運営する「週刊ガイド」「メッセージE」などの広告業務や、企業キャンペーン情報サイト「つくするメニュー」の運営などを行っております。また、各種モバイル・マーケティング・ソリューションを取り扱っており、モバイル・マーケティング全般を「One-Stop Mobile Marketing」として提供しています。

※Evolution Robotics, Inc.について

2001年4月設立。本社、カリフォルニア州パサディナ市。CEO/President Dr. Paolo Pirjanian。
画像認識、自律行動アルゴリズム、位置検出など、多くのロボット工学向け要素技術を開発し、自動掃除機から家庭用ロボット・サービスロボット・おもちゃなど、幅広い知能型ロボットをさらに進化させる技術力は、ロボット産業界において世界的に知られている。また、これらの要素技術をロボット以外の分野に応用するという面でも積極的に取り組んでおり、子会社としてER Retail社を昨年設立し、画像認識技術を応用した小売向けPOSシステムなどのビジネスも手がけている。Evolution Robotics, Incは、カリフォルニア州にある新規技術を創造・支援するIdealab社により、設立・支援されている企業のひとつである。
